

令和6年度
事業報告書



社会福祉法人 安代会
Social Welfare Corporation Ashirokai

I 法人概要

1 経営理念

社会福祉法人安代会 CI コーポレートアイデンティティ

MISSION

理念

「一生も、一瞬も。」

人は尊く、儚い人生を歩んでいます。

歩み続けた人生には、かけがえのない記憶や思い出が詰まっていて、
私たちはそれに寄り添うことを許される存在です。

寄り添うという言葉は簡単に聞こえるかもしれませんが、
決してそうではなく、視野を広げ、心を重ねるケアが必要です。

そのためには、その人を知り、共に暮らし、
想いをカタチにすることが大切なことだと思います。

「一瞬」の喜びや悲しみも共感すること、「一生涯」この郷土で暮らす価値を
提供するというのが私たちの根幹に存在しています。

高齢社会を迎える日本、私たちはより一層社会の期待を背負っています。
歩みを止めず今日より明日、明日より未来が輝く社会づくりを実現する

一歩先行く社会福祉法人を目指します。

VISION

ビジョン

私たちは最善のケアをもって、
関わる全ての人が安心な生活を送れる社会を作ります。

VALUE

価値観

一人一人のらしさ、その人らしい生活が続けられる環境を作ります。
寄り添うことを大切に、心が通うコミュニケーションで対応します。
八幡平市に「働きたくなる会社」「働く喜び」を感じられる企業としてあり続けます。
介護業界の誇り、素晴らしさを体現し、業界の価値を高めることに貢献します。

ACTION

行動指針

I

相手軸

相手の立場になって考え、行動する。

II

尊厳

尊重の姿勢、敬う心を大切にする。

III

チームワーク

助け合いの姿勢と行動。

IV

責任感

業務を完遂させ、責任を持つ。

V

表情

笑顔で接し、笑顔を引き出す。

VI

原点

初心を忘れず、常に向上心。

VII

対話

丁寧なコミュニケーション。

2 事業概要

□第一種社会福祉事業

特別養護老人ホームりんどう苑 定員 58 名

□第二種社会福祉事業

老人短期入所事業

りんどう苑短期入所事業所 定員 8 名

老人デイサービス事業

りんどう苑デイサービスセンター 定員 18 名

ふれあいセンター安代デイサービスセンター 定員 30 名

老人居宅介護等事業

ふれあいセンター安代訪問介護事業所

老人介護支援センター

りんどう苑在宅介護支援センター

障害福祉サービス事業

ふれあいセンター安代訪問介護事業所（基準該当）

認知症対応型共同生活介護

グループホームやがみ 定員 9 名

□公益事業

居宅介護支援事業

安代会居宅介護支援事業所

生活支援ハウスの受託経営

ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハウス 定員 10 名

II 法人使命の推進状況

1 令和6年度の重点目標

(1) サービスの質の向上

サービスの担い手でもある職員の質の向上を目指す。高齢者虐待防止やリスクマネジメント等に加え、介護機器や情報端末操作を取得しサービスに応用する。

(2) 事業継続計画（BCP）の実践

自然災害や緊急事態、感染症等のリスクに対する計画を訓練や研修を通して実践する。各種防災設備の定期点検、実効性のある訓練及び研修、飲料水や食料をはじめとする生活物資と感染対策装備を適正に備蓄する。

(3) 地域との関係性

社会福祉法人の地域貢献事業を通して、利用者のみならず地域の方々が郷土で暮らす楽しさを支援し、感染対策を継続しながら、行事やボランティア活動を通して交流する。

2 基本理念、基本方針並びに令和6年度重点目標に基づく評価

前記の重点目標を掲げ各事業所が事業実施したが、特筆すべき点は以下のとおりである。

(1) 介護保険運営基準上においても虐待防止項目が義務化され、動画研修等で権利擁護の意識向上に努めた。また、身体拘束適正化やリスクマネジメント研修に加え、介護職員を認知症介護実践リーダー研修に派遣し、認知症ケアの向上にも努めた。ただし、成果は見えにくく、今後は成果を数値化して評価する仕組みが求められる。介護機器や情報端末を生かした生産性の効果は乏しく、引き続き、浸透度を深める研修が必要である。

(2) 各事業所においてBCP（事業継続計画、以下「BCP」と呼ぶ）に基づく研修及び訓練を実施した。災害に備えた備品や機器を整備しつつ、不足な資材について検討している。今後は準備を万全にしながら、より実践的な訓練を目指して災害に備える。感染症では、クラスター等の蔓延等はなかったものの、皮膚感染症が続き、事業に大きな影響を与えたことから、あらゆる感染症への備えと対応について検討していく。

(3) 感染症等の蔓延はなかったものの、現在も新型コロナ禍に準ずる感染対策は継続していることから、りんどう苑夏祭りのような大きな行事等に取り組むことができなかった。地域貢献事業の一環である「ドライブサロン」は利用人数も維持され好評を得ている。引き続き、感染症の予防を実施した上でのボランティア受入や行事等の開催について進めていく。

Ⅲ 法人経営の具体的推進

1 法人運営状況

社会福祉法人として、地域福祉の中心的な担い手としてますます効果的、効率的な経営の実践が求められている。経営組織には高い公益性が求められており、令和6年度においてもガバナンス（組織統治）の強化により、自律的に適正な法人運営を実施できたと思われる。

(1) 評議員会開催状況

開催年月日	決議事項
令和6年6月24日	令和6年度定時評議員会 議案第1号 令和5年度社会福祉法人安代会決算について

(2) 理事会開催状況

開催年月日	決議事項
令和6年6月6日	令和6年度第1回理事会 議案第1号 令和5年度社会福祉法人安代会事業報告について 議案第2号 令和5年度社会福祉法人安代会決算について 議案第3号 特別養護老人ホームりんどう苑運営規程の一部改正について 議案第4号 りんどう苑短期入所事業所運営規程の一部改正について 議案第5号 りんどう苑短期入所事業所（空床利用型）運営規程の一部改正について 議案第6号 りんどう苑デイサービスセンターの指定居宅サービス事業所から指定地域密着型サービス事業への転換について

	議案第 7 号 りんどう苑デイサービスセンター（指定地域密着型通所介護）運営規程の制定について 議案第 8 号 令和 6 年度特別養護老人ホームりんどう苑拠点区分補正予算（第 1 号）（案）について 議案第 9 号 令和 6 年度グループホームやがみ拠点区分補正予算（第 1 号）（案）について 議案第 10 号 令和 6 年度ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハウス拠点区分補正予算（第 1 号）（案）について 議案第 11 号 令和 6 年度社会福祉法人安代会定時評議員会について
令和 6 年 9 月 26 日	令和 6 年度第 2 回理事会 議案第 1 号 令和 6 年度特別養護老人ホームりんどう苑拠点区分補正予算（第 2 号）（案）について 議案第 2 号 令和 6 年度ふれあいセンター安代拠点区分補正予算（第 1 号）（案）について 議案第 3 号 令和 6 年度ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハウス拠点区分補正予算（第 2 号）（案）について
令和 6 年 12 月 26 日	令和 6 年度第 3 回理事会 議案第 1 号 社会福祉法人安代会謝礼金支給規程の一部改正について 議案第 2 号 社会福祉法人安代会奨学金貸与規程の一部改正について 議案第 3 号 令和 6 年度特別養護老人ホームりんどう苑拠点区分補正予算（第 3 号）（案）について 議案第 4 号 令和 6 年度ふれあいセンター安代拠点区分補正予算（第 2 号）（案）について 議案第 5 号 令和 6 年度グループホームやがみ拠点区分補正予算（第 2 号）（案）について
令和 7 年 3 月 27 日	令和 6 年度第 4 回理事会 議案第 1 号 社会福祉法人安代会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 議案第 2 号 ふれあいセンター安代デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議案第 3 号 グループホームやがみ運営規程の一部改正について 議案第 4 号 令和 6 年度特別養護老人ホームりんどう苑拠点区分補正予算（第 4 号）（案）について 議案第 5 号 令和 6 年度ふれあいセンター安代拠点区分補正予算（第 3 号）（案）について 議案第 6 号 令和 6 年度グループホームやがみ拠点区分補正予算（第 3 号）（案）について 議案第 7 号 令和 6 年度ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハ

	ウス拠点区分補正予算（第3号）（案）について
議案第8号	社会福祉法人安代会中長期計画書（2025年度～2029年度）策定について
議案第9号	特別養護老人ホームりんどう苑施設長の任用について
議案第10号	令和7年度社会福祉法人安代会事業計画（案）について
議案第11号	令和7年度特別養護老人ホームりんどう苑拠点区分予算（案）について
議案第12号	令和7年度ふれあいセンター安代拠点区分予算（案）について
議案第13号	令和7年度グループホームやがみ拠点区分予算（案）について
議案第14号	令和7年度ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハウス拠点区分予算（案）について
議案第15号	令和7年度社会福祉法人安代会資金運用計画（案）について

(3) 監事監査

開催年月日	内 容
令和6年5月28日	令和5年度決算監査、令和6年3月分出納監査
令和6年8月27日	令和6年4月分から令和6年7月分までの出納監査
令和6年12月24日	令和6年8月分から令和6年11月分までの出納監査
令和7年3月25日	令和6年12月分から令和7年2月分までの出納監査

(4) 外部会計監査

開催年月日	内 容
令和6年4月30日	1月分から3月分試算表の確認、小口現金の確認、現金取引の確認等
令和6年5月21日	令和5年度会計決算監査（財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務）
令和6年7月31日	4月分から6月分試算表の確認、小口現金の確認、現金取引の確認等
令和6年10月25日	7月分から9月分試算表の確認、小口現金の確認、現金取引の確認等
令和7年1月27日	10月分から12月分試算表の確認、小口現金の確認、現金取引の確認等

(5) 中長期計画策定委員会

開催年月日	内 容
令和7年3月11日	社会福祉法人安代会中長期計画書（2025年度～2029年度）策定について

2 各主要会議の開催状況

事業運営における課題について対策や情報共有を行い、ガバナンスの確立に努めた。

(1) 経営会議

開催年月日	内 容	参加者数
令和6年4月15日	経営実績シート、令和5年度事業報告書の作成について、令和6年度事業計画について、令和6年度予算について、令和6年度介護職員処遇改善計画、令和6年4月以降の新型コロナウイルス感染症陽性者の報告について、八幡平市ボランティアポイントについて、特別養護老人ホームりんどう苑拠点の全館 wi-fi に伴う使用について	9名
令和6年5月15日	経営実績シート、公印の取り扱いについて、安全運転管理規程について、令和6年度介護報酬改定事項と6月以降の処遇改善加算について	7名
令和6年6月17日	経営実績シート、所得税及び住民税の定額減税について、りんどう苑デイサービスセンターの指定地域密着型サービス事業所への転換について、盛岡北部行政事務組合の運営指導について、夏季の電気使用について	9名
令和6年7月16日	経営実績シート、りんどう苑夏祭り開催の可否について、令和5年度決算について、基準上義務的に事業所内で必要な研修について	9名
令和6年8月15日	経営実績シート、令和6年度盛岡北部行政事務組合指定居宅介護支援事業所及び指定地域密着型サービス事業所等の運営指導の結果について、日清医療食品の朝食提供について、令和6年度八幡平市総合訓練について	8名
令和6年9月17日	経営実績シート、令和6年度介護保険施設（特別養護老人ホームりんどう苑）等の運営指導について、令和6年7月分事業活動計算書による各サービスの経営状況について、令和6年度上半期人事考課について	9名
令和6年10月15日	経営実績シート	8名
令和6年11月15日	経営実績シート、令和6年度介護保険施設等の運営指導の実施結果について、盛岡北部第9期介護保険計画サービス事業計画に伴うふれあいセンター安代デイサービスセンターについて、令和6年度人事考課面談日程について	8名
令和6年12月16日	経営実績シート、令和7年度事業計画・予算編成案について	8名
令和7年1月15日	経営実績シート	9名
令和7年2月17日	経営実績シート、中長期計画策定委員会事務局会議、車両の配置と令和7年度の車両保険と事業保険につ	7名

令和7年3月17日	いて 経営実績シート、令和7年度辞令交付式、令和7年度 所定休日計画、銀行等財形変更届について、改正育 児・介護休業法について、令和7年度利用料及び報酬 加算体制について、令和7年度人事異動について	9名
-----------	---	----

(2) 苦情解決第三者委員会会議

開催年月日	内 容	参加者数
令和7年3月11日	令和6年度社会福祉法人安代会苦情相談 報告並びに意見交換	第三者委員 2名 苦情解決責任者 1名 苦情受付担当者 3名

(3) 入退所判定会議

開催年月日	内 容	参加者数
令和6年5月29日	第三者（行政）を交えて委員会を開催し優先待機者を 決定	7名
令和6年8月19日	優先待機者から入所決定の事務局会議	6名
令和6年8月28日	第三者（行政）を交えて委員会を開催し優先待機者を 決定	7名
令和6年9月25日	優先待機者から入所決定の事務局会議	6名
令和6年11月8日	優先待機者から入所決定の事務局会議	4名
令和6年11月26日	第三者（行政）を交えて委員会を開催し優先待機者を 決定	6名
令和7年2月4日	優先待機者から入所決定の事務局会議	3名
令和7年2月26日	第三者（行政）を交えて委員会を開催し優先待機者を 決定	7名

(4) 給食会議

開催年月日	内 容	参加者数
令和6年4月15日	各事業所5月行事予定、献立見直し、シン食事の説明	4名
令和6年5月20日	各事業所6月行事予定、献立・食材見直し、調理室内温 度管理とエアコン仕様について	4名
令和6年6月17日	各事業所7月行事予定、献立見直し、食事キャンセル可 能時間やシン食事サービス導入確認事項	4名
令和6年7月19日	各事業所8月行事予定、献立見直し、シン食事サービス 対応機械設置・試食、食物アレルギーについて	5名 5名
令和6年8月19日	各事業所9月行事予定、献立見直し、異物混入時の報告 方法、シン食事ソフト食サンプル試食について、調理従 事者感染症対応状況報告について	4名 4名
令和6年9月17日	各事業所10月行事予定、献立見直し、シン食事開始に 向けてお知らせ、アクシデント対応報告	4名
令和6年10月21日	各事業所11月行事予定、献立見直しについて、シン食 事始動状況、調理従事者勤務状況報告、	4名
令和6年11月17日	各事業所12月行事予定、献立見直しについて、シン食	4名

令和7年12月16日	事リヒートウォーマー機器導入報告 各事業所2.3月行事予定、献立見直しについて、異物付着・害虫、他施設でのシン食事状況報告	3名
令和7年1月21日	各事業所2.3月行事予定、献立見直しについて	4名
令和7年2月17日	各事業所4月行事予定、献立見直しについて、機器点検報告	4名
令和6年3月18日	5月行事予定、献立見直し、感染時対応について	6名

3 人事管理の状況

厚生労働省は、令和5年「介護サービス施設・事業所調査」の結果（令和6年12月25日公表）を取りまとめたが、介護労働者数は約212.6万人と前年より2.9万人減少し、介護保険制度創設後、初めての減少であった。理由は生産年齢人口が減るなか多くの分野で人手不足が顕在化していること、賃上げが進む他産業との人材獲得競争が激化していることが挙げられる。厚労省の推計によると、2040年度には約272万人の介護職員が必要であり、継続的に増やしていくことが強く求められるなか、大きな衝撃を与えた。既に盛岡市では、日本人採用から外国人採用にシフトしている法人もでてきている。

4月から採用した介護職員2名は有資格者であり、他法人での長年の就業実績もあることから、即戦力として活躍している。残念ながら諸事情により管理栄養士とパート職員の退職があったものの、異動等で配置人数の適正化に努めた。当初から介護職員の配置人数は加配であり、また、ふれあいセンター安代デイサービスセンターの急激な利用人数の減少が見られ、介護職員数が過多となったことから、職員数を平均化した。職員1名が実務経験から介護福祉士国家資格に合格し、活躍している。しかし、介護福祉士の有資格者は増えているものの、介護支援専門員等の上位資格の取得までには至っておらず、介護支援専門員や管理栄養士等を含めた専門職の確保を考えていかなければならない。令和6年度をもって正規職員の2名の定年退職があり、引き続き1名の看護職員が就業している。令和7年度から新たに正規職員2名（1名は7月から）とパート職員1名を迎えることができた。今後、毎年度、退職者1名以上となることから、年齢問わず採用を考えていかなければならない。現時点では、外国人雇用については、見通してはいないが、八幡平市の生産年齢人口等を考慮すると、具体的に考えていかなければならない時期も迫っている。

(1) 採用・退職の状況

職種	令和6年3月31日 の職員数				年間就任・退任						令和7年3月31日 の職員数			
	正職員	有期職員		計	正職員		有期職員				正職員	有期職員		計
		常勤職員	非常勤職員		就任	退任	常勤職員		非常勤職員			常勤職員	非常勤職員	
							就任	退任	就任	退任				
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
管理者	5	0	0	5	2	3	0	0	0	0	4	0	0	4
事務員	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
生活相談員	3	0	0	3	1	2	0	0	0	0	2	0	0	2
介護支援 専門員	2	2	0	4	1	0	0	1	0	0	3	1	0	4
介護職員	29	7	3	39	4	4	0	1	3	0	29	6	6	41
看護職員	5	0	2	7	0	1	0	0	1	1	4	0	2	6
(管理) 栄養士	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1
機能訓練 指導員	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
歯科衛生 士	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
調理員	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2
用務員	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
運転手兼 介助員	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	49	10	13	72	9	10	1	2	4	1	47	9	16	72

1 上記の員数は主たる職種のみを掲載

(2) 職員研修の状況

ア 施設外研修

年月日	研修名	参加数
令和6年5月22日	令和6年度第1回認定調査員新規研修(オンライン)	1名
令和6年5月29日	安全運転管理者講習	1名
令和6年6月4日	リスクマネジメント研修(基礎編)(オンライン)	1名
令和6年6月9日	令和6年度盛岡地区介護支援専門員協議会第1回定例研修会	4名
令和6年6月20日	令和6年度防火管理講習	2名
令和6年6月22日	岩手県介護支援専門員協会「令和6年度第1回定例研修会」	1名
令和6年6月22日	介護施設における法律実務研修(オンライン)	1名
令和6年7月2日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(管理職員編)	1名
令和6年7月3日	福祉サービスの苦情を考えるセミナー	2名

令和6年7月5日	介護施設における安全対策担当者養成研修(オンライン)	2名
令和6年7月9日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(チームリーダー編)	1名
令和6年7月22日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(中堅職員編)1班	1名
令和6年7月29日	メンタルヘルス研修(管理者編)	1名
令和6年8月8日	令和6年度介護保険サービス事業所及び有料老人ホーム集団指導(zoom)(オンライン)	4名
令和6年8月8日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(中堅職員編)2班	1名
令和6年8月20日	主任介護支援専門員更新研修	1名
令和6年9月4日	介護に活かす生活期リハビリテーション	1名
令和6年9月5日	岩手県介護支援専門員研修課程Ⅱ更新研修	1名
令和6年9月10日	主任介護支援専門員更新研修	1名
令和6年9月12日	都道府県経営協セミナー(前期)	1名
令和6年9月12日	社会福祉法人経営サポートセミナー	1名
令和6年9月18日	令和6年度第1回自立支援型地域ケア会議	2名
令和6年9月27日	令和6年度八幡平市栄養士等情報交換会	2名
令和6年10月2日	令和6年度岩手県認知症介護実践リーダー研修	1名
令和6年10月9日	チームケア住環境整備「実践」フェスティバル～住み慣れた家で暮らすためにできること～	1名
令和6年10月18日	中央ブロック高齢者福祉協議会第1回生活相談員・介護支援専門員部会職員研究会	1名
令和6年10月21日	令和6年度保健福祉等高齢者施設職員リハビリテーションケア技術講習会	2名
令和6年10月28日	介護人材定着支援セミナー	1名
令和6年10月28日	令和6年度メンタルヘルスク研修(セルフケア編)	1名
令和6年10月29日	令和6年度第1回防災委員会研修会	1名
令和6年10月30日	令和6年度福祉用具・住宅改修研修会	1名
令和6年11月6日	令和6年度岩手県認知症介護実践リーダー研修	1名
令和6年11月6日	職場環境づくりに関する研修～介護現場で役立てる～心理的安全性のつくりかた(オンライン)	1名
令和6年11月7日	相談支援研修(オンライン)	1名
令和6年11月12日	ケアマネ支援センター巡回相談研修	1名
令和6年12月5日	岩手県八幡平地域福祉サービス苦情解決情報交換会	2名
令和6年12月6日	令和6年度事務長等研修会	1名
令和6年12月17日	高齢者の在宅生活を支える支援関係者研修会	1名
令和6年12月19日	令和6年度岩手県介護支援専門員実務研修実習受入協力事業所向け研修会(オンライン)	1名
令和6年12月24日	令和6年度岩手県認知症介護実践リーダー研修	1名
令和7年1月17日	中央ブロック高齢者福祉協議会令和6年度(第37回)職員研究大会	8名
令和7年1月22日	令和6年度第1回八幡平市地域ケア会議及び研修会	7名
令和7年1月27日	介護労働者の雇用管理責任者講習(eラーニング)(オンライン)	1名
令和7年2月14日	令和6年度第2回セミナー「職員が生き生きと働く職場づくりのために」(オンライン)	1名
令和7年2月18日	いわて働きやすい介護現場サポートセミナー&介護ロボット等展示会(オンライン)	1名
令和7年2月20日	令和6年度第2回八幡平市地域ケア会議及び研修会	5名
令和7年2月27日	第13回産業保健「健康支援セミナー」	1名
令和7年2月27日	雇用保険電子申請説明会	1名
令和7年3月6日	令和6年度盛岡地域歯科保健医療従事者研修	1名
令和7年3月18日	介護現場における生産性向上推進フォーラム(オンライン)	2名
令和7年3月22日	岩手県介護支援専門員協会「令和6年度第3回定例研修会」	1名

イ 施設内研修

年月日	内容
令和6年4月1日	安代会新任職員研修 法人理念、各種規則・規程等 講師：施設長、看護師長、生活相談員、防災管理者、事務
令和6年6月5日 ～6月15日	第1回認知症ケア研修（動画研修 感想提出） 「B P S Dへのアプローチに視点をのいた認知症ケア」 主催：認知症ケア委員会
令和6年6月6日 ～6月20日	第1回感染症研修 「わかりやすいスタンダードプリコーション」 （動画研修 感想提出） 主催：感染症対策委員会
令和6年6月6日 ～6月20日	第1回感染症B C P研修 「介護施設、事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続計画作成のポイント」 （動画研修 感想提出） 主催：感染症対策委員会
令和6年6月21日 ～7月5日	第1回虐待防止研修 「介護職員のための高齢者虐待に関する研修」 （動画研修 感想提出） 主催：高齢者虐待防止検討委員会
令和6年7月3日 ～7月31日	第1回医療的ケア研修 「口腔からの喀痰吸引・胃ろうからの経管栄養」 （実技指導の実施） 主催：痰吸引安全委員会 講師：医療的ケア指導者
令和6年7月8日 ～7月20日	「緊急時の対応について」（動画研修 感想提出） 主催：看護職員
令和6年7月13日 ～7月25日	第1回感染症及び災害に係る業務継続計画（B C P）のための研修訓練（実技訓練） 主催：感染症対策委員会
令和6年7月29日 ～8月12日	「安代会職員ハラスメント防止研修」（動画研修 感想提出） 主催：衛生委員会
令和6年9月2日 ～9月16日	「食事時の不適切な姿勢によるリスクを考える」 主催：食事サービス委員会
令和6年9月25日 ～10月9日	「看取りケア（命）と（いのち） 終末期の身体変化と対応方法」（動画研修 感想提出） 主催：看護職員
令和6年9月25日 ～10月9日	「介護施設でよく使う軟膏・内服」（動画研修 感想提出） 主催：看護職員

令和6年9月30日 ～10月11日	第2回認知症ケア研修 「適切な接遇は適切な認知症ケアに繋がる」 (動画研修 感想提出) 主催：認知症ケア委員会
令和6年10月22日	「おむつの当て方について」(実技 感想提出) 主催：排泄検討委員会 講師：花王プロフェッショナルサービス 宍戸様
令和6年10月16日 ～10月31日	第1回身体拘束適正化研修 「身体拘束防止・廃止について」(動画研修 感想提出) 主催：身体拘束適正化委員会
令和6年10月16日 ～10月31日	第1回リスクマネジメント研修 「介護職員と事業所を守る！トラブル対策」 (動画研修 感想提出) 主催：リスクマネジメント委員会
令和6年11月11日 ～11月26日	第2回医療的ケア研修 「口腔ケアの実技指導の実施」 主催：痰吸引安全委員会 講師：医療的ケア指導者
令和6年11月15日 ～11月30日	第2回感染症研修 「感染症ガイドブック」(動画研修 感想提出) 主催：感染症対策委員会
令和6年11月25日 ～12月13日	第2回感染症BCP研修 「ガウンの着脱」実技 主催：感染症対策委員会
令和6年12月20日 ～12月31日	「知っておきたい褥瘡 発生原因と予防・対処法」(動画研修 感想提出) 主催：褥瘡予防対策委員会
令和6年12月16日 ～12月31日	感染症及び災害に係る業務継続計画研修 「介護事業所のBCP(事業継続計画)社労士がわかりやすく 説明します」(動画研修 感想提出) 主催：防災対策委員会
令和6年12月20日 ～令和7年1月8日	第2回虐待防止研修 「アンガーマネジメントの考え方」(動画研修 感想提出) 主催：虐待防止検討委員会
令和7年1月10日 ～1月31日	第2回身体拘束適正化研修 「身体拘束せずに事故を防ぐ方法」(動画研修 感想提出) 主催：身体拘束適正化委員会
令和7年1月10日 ～1月31日	第2回リスクマネジメント研修 「なぜ介護の利用者はハラスメントするのか？介護職がとるべき 対処法も解説」(動画研修 感想提出) 主催：リスクマネジメント委員会

(3) 自己啓発支援

内訳	人数	助成金額
介護福祉士実務者研修	1名	100,000円
介護支援専門員受験費用	1名	10,900円
自己啓発助成金	1名	3,520円

4 財務管理の状況

在宅サービス利用者の減少により、居宅介護料収益が前年と比べ11,435千円の減収となった。ふれあいセンター安代拠点においてはデイサービス利用者の減少のほか、4月から訪問介護事業所を休止していることが要因のひとつである。施設介護料収益は前年と比べ8,577千円の増収となったが、法人全体サービス活動では3,275千円の減収となる。これは障害福祉サービス事業の休止や前年度の地元の衣料店の閉店に伴い、衣類の寄付の収入が大きかったことも影響している。

人件費については退職者分の退職給付金を差し引くと9,018千円の減少となる。これは定年や年度途中の退職によるものである。

経費については全体で2,994千円の増加となった。前年度から引き続き物価、重油・電気料金の単価が上昇しており、重油・電気代においては使用量の節制に努めたが、2,855千円と増加した。また、施設設備の修繕が度々発生し、683千円増加となった。幸い新型コロナウイルスなど感染症の蔓延がなかったため、感染対策費用は予防費用のみで抑えられているため減少している。ふれあいセンター安代拠点においては前年度の車両事故により市所有の公用車を賠償したが、協議のうえ法人所有になったことから固定資産とともに特別活動増減が3,538千円増加している。当期末繰越活動増減差額は164,986千円で前年比87.31%となった。

5 地域交流の状況

令和5年5月以降、新型コロナウイルス感染症が5類となったものの、感染症対策のためボランティア等の受入れはできていない。特別養護老人ホームりんどう苑においては例年通り安代地区民生児童委員のボランティアは外作業のみに留まったが、ふれあいセンター安代デイサービスセンターでは安代小学校との交流ができた。入所者数名は、田山地区の行事に参加し交流ができた。今後も感染対策を継続したうえで外出機会を増やし、入所者の社会参加を促すことができるよう支援する。また、これまで制限されてきた活動が実施できるよう、ボランティアの受け入れ方法を検討していく必要がある。

介護実習については、感染対策を実施したうえで、継続して受け入れができていたが、安代中学校への出前講座は昨年度より休止となり、生徒の施設見学受け入れについても実施できなかった。

(1) 慰問・ボランティア受け入れ状況

年月日	慰問・ボランティア団体名	内容	人数
令和6年6月2日	沢目むつみ会（地域協力員）	苑庭床作り	1名
令和6年6月11日	民生児童委員ボランティア	苑庭草刈	30名
令和6年6月14日	沢目むつみ会 （沢目婦人会、苗代沢自治会）	花植え	18名
令和6年6月18日	安代小学校（4年生）	見学、質疑応答	児童10名 引率2名
令和6年7月5日	沢目むつみ会 （老人クラブつるかめ会）	花壇草取り やがみ花壇草取り	10名
令和6年8月2日	沢目むつみ会	花壇草取り	12名

令和6年9月13日	(新興通姥子石自治会) 沢目むつみ会	花壇草取り	14名
令和6年12月9日	(矢神田中自治会、地域協力員) 安代小学校(4年生)	交流	児童11名 引率2名 (110名)

(2) 視察・研修受け入れ状況

年月日	視察・研修受け入れ団体名	内容	備考
令和6年7月2日	安代中学校	職場体験	1名
令和6年7月8日 ～7月12日	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	介護実習Ⅰ-①	3名
令和6年9月30日 ～10月4日	盛岡大学	介護等体験	1名 (5名)

() は延べ人数

6 リスクマネジメント

保険者への介護事故報告数は4件。骨折の事例が2件あり。骨折の事例では、ともに職員の目が届きにくい居室内での出来事で確たる原因が不明であったため、可能性と要因を分析して対応策を検討した。ハインリッヒの法則を意識し、同様の事故が発生しないようにPDCAサイクルを進めていく対応が求められる。今年度に発生した事故については、施設側の過失と思われる事故も発生しており、家族からの慰謝料や賠償請求はなかったものの、損害にあたる治療費は善良管理者注意義務を履行として、事業所が負担することで事故終結している。

昨年度に引き続き介護事故及びヒヤリハット報告の要因分析をしたうえで対応策を検討する体制を整え、介護事故におけるPDCAサイクルを強固にしていく。

(1) 苦情相談の受付・解決の概要

ア 受付方法

分類	電話	手紙	本人	その他
苦情	0	0	3	0
相談	随時	随時	随時	随時

イ 苦情相談内容別解決方法

分類	相談助言	紹介伝達	斡旋	通知	その他	継続中
サービス内容について	0	0	0	0	0	0
職員の対応について	3	0	0	0	0	0

(2) 事故発生状況

行政報告事故

事業所名	事故内容
特別養護老人ホームりんどう苑	車椅子上からの転落、前額部裂創
りんどう苑デイサービス	脱衣所にて柵に頭部をぶつけて瘤ができ病院受診
グループホームやがみ	居室にて転倒し、左大腿骨頸部骨折
	居室にて転倒し、左橈骨遠位端骨折

7 I W A T E ・ あんしんサポート事業

社会福祉法人が種別を超えて連携・協力し、制度の狭間にある方々の自立を支援するためセーフティネットを構築する事業である。アウトリーチを伴う活動により地域の福祉課題を把握し、新たな社会資源を創出することを目的として実施しているが、令和6年度の相談者はいなかった。

8 各委員会の活動状況

(1) 中長期計画策定委員会

中長期計画書（2025年～2029年度）を策定した。安代会としてはこの中長期計画が3版目となり、社会・地域情勢を踏まえた趣旨や分析、重点目標と行動計画を記載している。中長期的な視点で課題を捉えることで、環境変化に強く、単年度事業計画の大きな手助けになると考えられる。今後は毎年度、進捗状況を検証し、適切な法人運営を目指す。

(2) 苦情解決委員会

苦情件数は0件、改善依頼が3件だったが、いずれも職員の対応について本人や家族からの相談だった。基本的な職員の言葉遣いやコミュニケーションの齟齬によって生じていると思われる相談がほとんどのため、各事業所においても改めて職員の対応について意識付けを行う必要がある。

(3) 防災対策委員会

計画通り各事業所で年2回の防災訓練を行った。しかしながら特別養護老人ホームりんどう苑では、夜間想定防災訓練を実施しておらず、介護保険施設運営指導の指摘事項となった。指摘事項を改め、日中と夜間を想定した訓練をそれぞれ実施する予定である。幸いにも避難するような災害はなかったものの、大船渡の山火事や豪雨災害で一時的に停電があったことから、防災意識の更なる向上が望まれる。

(4) 衛生委員会

労災発生件数は4件と多かったものの、熱中症対策で導入した素材の違う制服の導入や脱水予防の塩タブレットの設置は効果的であった。依然としてストレスチェックでは身体的負担によるストレスの値は高いが、解消に向けて取り組みを継続する。その他、ICT機器の活用推進について、りんどう苑で通信環境を改善した効果は大きかった。研修や委員会をリモートで実施する機会が増えた結果、感染リスクの低減、移動時間や交通費の削減につながった。

(5) 感染症対策委員会

標準的な感染予防対策の成果によって、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス感染症、風邪等のクラスター発生は0件であった。ふれあいセンター安代デイサービスセンターにおいては、疥癬の発生があり収束に時間を要した。定期的に研修会を実施し、各事業所で訓練を含めた感染対策を行っているが、感染症が日常的に存在するため、引き続き平時からの感染対策とサービス形態にあったマニュアル及びBCPを実践し、蔓延防止に努めていきたい。

(6) 認知症ケア委員会

講師を招聘しての研修会は実施できていないが、年2回の動画研修を実施できた。認知症ケアに関するチラシを委員会で共有、職員の目の届くところに掲示し、自己啓発によるサービスの向上に努めた。

(7) 身体拘束適正化委員会

3ヶ月に1回の定例会議と必要時に開催する臨時会議において、各事業所の身体拘束の実態や抑制廃止の可能性について検討した。グループホームやがみにおいては、身体拘束は実施せずに対応できたが、特別養護老人ホームりんどう苑において長期入所者1名、短期入所者において1名、身体拘束の必要な事例があった。定例会に加えて臨時の委員会を開催し、適切な手順、方法で身体拘束を行い、家族とも密に連絡を取りながら対応している。研修においても、身体拘束の要件や緊急やむを得ない場合について改めて

周知することで、身体拘束の適正化に努めた。

日常の声がけについては、スピーチロックと捉えられるような声がけ、言葉遣いにならないように定期的に注意喚起、呼びかけに務めていく。

(8) リスクマネジメント委員会

毎月の定例会議を開催し、ヒヤリハット及び事故報告の共有と必要時の再検討を行った。ヒヤリハットの報告数が少ないため、今後もヒヤリハット報告の重要性を周知し、事故に対する気づきとして活用していく必要がある。認知症状が著明な入所者も多く、効果的な対応策が見いだせない事例があるものの、症状や健康状態を適切にアセスメントした上でリスク分析し、PDCAサイクルの確立を目指す。マニュアルや24Hシートの改定は引き続き行っていく。

(9) 広報委員会

年4回の発行が1回のみとなった。次年度は計画的に発行していきたい。また、ホームページやSNSなどで法人内の活動状況の更新がほとんどできなかったのも反省点である。

(10) 地域貢献委員会

安代会事業の「安心サポート事業」、「不良な生活環境を解消するための支援」についての案件はなかった。ドライブサロン事業においては感染症等での中断もなく、継続することができた。利用人数も横倍であり、今後も地域で暮らしていけるような支援を目指す。

① 地域貢献事業ドライブサロンに関すること

(1) 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
利用者数	21	24	20	27	18	17	26	20	24	18	23	22	260	260

9 防災訓練の活動状況

年月日	訓練種別	実施内容	参加者
特別養護老人ホームりんどう苑拠点			
8月28日	総合避難訓練(前期)	火災と水害を想定し消火、通報、避難誘導の要領を再確認した。消火については消火器の使用説明を行い初期消火への対応を訓練し、通報については消防署に通報を行い、適切な通報の仕方を訓練した。避難誘導については避難経路を確認した。	職員 (りんどう苑・デイサービス・居宅介護支援事業所)
10月23日	総合防災訓練(後期)	火災を想定し訓練を実施。利用者の安全確保を図るため、避難場所と手順を確認して防災技能、意識の向上、関係機関との連携の確認を行う。炊き出し訓練では実際に非常食を準備し、入所者の昼食として提供した。	職員 (りんどう苑・デイサービス・居宅介護支援事業所・日清医療食品)

ふれあいセンター安代拠点			
11月27日	総合避難訓練(前期)	デイサービスセンター厨房コンロの鍋からの火災発生を想定し、消防署への通報訓練、初期消火訓練(確認)及び避難訓練する。利用者の生命と安全確保、避難通路の確認とともに職員及び利用者の防災意識を高めることを目的とした。避難訓練終了後、水消火器を用いた消火訓練に職員2名参加して使用方法を確認する。	職員(ふれ デイ、生活 支援ハウ ス) デイサービ ス利用者 生活支援ハ ウス入居者 社協職員
3月4日	総合避難訓練(後期)	デイサービスセンターボイラー室から火災発生を想定し、消防署への通報訓練、初期消火訓練(確認)及び避難訓練する。利用者の生命と安全確保、避難通路の確認とともに職員及び入居者の防災意識を高めることを目的とした。避難訓練終了後、自然災害BCPについて読み合わせを行う。	職員(デイ、 生活支援ハ ウス) 生活支援ハ ウス入居者 社協職員
グループホームやがみ拠点			
8月28日	総合避難訓練(前期)	日中、ボイラー室からの出火を想定し、消火器による初期消火訓練、避難誘導訓練、一般回線による通報訓練を実施する。水消火器による消火訓練を行い、使用方法を再度確認した。BCPの自然災害の訓練については、避難開始の判断基準、避難場所、避難経路、非常持ち出し物品の保管場所を確認した。また、職員の連絡優先順位や入居者の避難優先順位等の確認を実施し、入居者の生命、安全な避難誘導を行い、職員及び入居者の防火意識を高める目的とし訓練を実施した。	職員 入居者
3月12日	総合避難訓練(後期)	夜間、ボイラー室からの出火を想定し、消火器による初期消火訓練、避難誘導訓練、一般回線による通報訓練を実施。打ち合わせを行い不安なくできたが問題点も散見したことから改善する必要がある。	職員 入居者

Ⅳ 事業別サービスの事業報告

1 特別養護老人ホームりんどう苑

年間平均介護度が3.8で推移し、昨年度の4.0から0.2大きく軽度化した。退去された方は22名となり、施設で看取りになられた方は19名となる。延命を希望される方は少なく、平均在所日数も2年と9ヶ月となり、令和3年度と比較すると40%ほど短くなっている。特別養護老人ホームりんどう苑の入所待機者数は年々減少し、待機期間もほぼなくなっている。延命しない看取り介護が定着し、在所日数が短期間になったこと、保険者管内に有床施設が多く、人口、要介護認定者数とベッド数のバランスが不均衡であること、地域に在宅サービスや医療機関が少ないこと等が現在の待機者減少の要因となり、被保険者にとっては良いことではあるが、経営していく上では、大きな脅威となっている。

新型コロナウイルス感染症等の蔓延も見られず、受入の中断等もなく事業を進めることができた。ただし、基礎疾患を有する高齢者が暮らす生活の場であることを鑑みると、厳重な感染対策は必要であり、実際に近隣ではインフルエンザ等の蔓延が頻発したことから、引き続き対応策を踏襲することになる。

社会福祉サービス第三者評価をもとにした、自己評価を行う予定であったが実施できていない。サービスについて振り返ることができず、サービスの質の向上には至らなかった。認知症ケアを進めるために職員1名を上位区分にあたる認知症介護実践リーダー研修に派遣し、職員の能力向上及び実践リーダーとしてのチームマネジメントの向上を目指した。引き続き実務的な研修に派遣し、サービスの質の向上を目指す。

① 入所者の利用に関すること

(1) 保険者別在籍状況

保険者	年度末現在数			令和6年度 入所者数	令和6年度 退所者数
	男性	女性	計		
盛岡北部行政事務組合	18	31	49	18	21
二戸地区広域行政事務組合	0	3	3	2	1
鹿角市	0	2	2	1	0
盛岡市	1	0	1	0	0
合計	19	36	55	21	22

(2) 月別入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月末入所者数	57	58	58	56	58	56	55	57	58	58	57	55
入所	2	1	0	3	1	3	3	1	2	0	3	2
退所	1	1	2	1	3	4	1	0	2	1	5	1
月末入所者数	58	58	56	58	56	55	57	58	58	57	55	56

※末日の入所者数には末日退所者は含まない。

(3) 要介護度別利用状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
要介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度2	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	28	31	651	732
要介護度3	638	673	665	709	707	711	798	705	727	713	693	794	8550	5611
要介護度4	642	627	559	553	575	533	537	570	558	556	403	434	6554	7611
要介護度5	350	408	420	446	406	381	372	390	429	465	422	465	4964	6567
合計	1690	1770	1704	1770	1750	1685	1769	1725	1776	1796	1546	1724	20705	20521
平均	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	4.0

(4) 入所者の認知症度別状況

区分	男性	女性	合計
自立	0	0	0
I	0	3	3
II a	0	0	0
II b	6	2	8
III a	8	16	24

(5) 入所者の寝たきり度状況

区分	男性	女性	合計
自立	0	0	0
J 1	0	0	0
J 2	0	0	0
A 1	2	1	3
A 2	3	11	14

Ⅲ b	3	6	9
Ⅳ	3	9	12
M	0	0	0

B 1	5	7	12
B 2	6	14	20
C 1	1	1	2
C 2	3	2	5

(令和7年3月31日現在)

(6) 月別面会状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
家族数	27	33	46	28	42	41	34	33	35	26	31	20	396	362
面会数	54	69	89	58	105	74	82	51	83	77	66	54	862	779
1日平均	1.8	2.2	2.9	1.8	3.3	2.4	2.6	1.7	2.6	2.4	2.3	1.7	2.3	2.1

※感染対策のため面会規制中

② 入所者の処遇に関すること

(1) クラブ活動実施状況

クラブ名	参加人数 (延べ)	平均参加人数	開催状況
手 工 芸 ク ラ ブ	21	3	年7回
お 料 理 ク ラ ブ	4	2	年2回

(2) 行事・レクリエーション活動等 実施状況

月	内 容	参加人数
4月	誕生会 開苑記念食事会 手芸クラブ	110人
5月	誕生会 母の日 手芸クラブ	75人
6月	誕生会 父の日 手芸クラブ	75人
7月	誕生会 夕涼み会 お料理クラブ	110人
8月	誕生会 盆供養 体操 花火鑑賞	110人
9月	誕生会 体操 敬老会 秋彼岸供養 手芸クラブ	110人
10月	誕生会 手芸クラブ	50人
11月	誕生会 手芸クラブ	50人
12月	誕生会 クリスマス会 お料理クラブ 正月準備	80人
1月	誕生会 鏡開き 手芸クラブ	75人
2月	誕生会 節分 手芸クラブ	75人
3月	誕生会 お料理クラブ 春彼岸供養 手芸クラブ	100人
計		1020人

③ 入所者の健康管理に関すること

(1) 入所者の疾病別状況

(令和7年3月31日現在)

病 名	男	女	計	病 名	男	女	計
心臓疾患	6	14	20	内分泌・代謝系疾患	0	8	8
脳血管疾患	13	12	25	精神系疾患	8	7	15
呼吸器系疾患	5	3	8	便秘症	20	49	69
消化器系疾患	3	8	11	高血圧症	12	22	34

泌尿器系疾患	8	3	11	糖尿病	6	3	9
整形外科系疾患 (骨粗鬆症含む)	7	11	18	悪性新生物	3	0	3
アルツハイマー	9	23	32	経管栄養	2	1	3
レビー小体型認知症	0	3	3	ペースメーカー	1	0	1
認知症	3	21	24	膀胱留置カテーテル	2	1	3
パーキンソン症候群	1	3	4	在宅酸素	2	1	3

(重複あり)

(2) 各種検査・治療・予防接種・通院・入院状況

(令和7年3月31日現在)

各種検査 (延回数)		通 院 (延人数)		入 院 (延日数)	
血液検査	65	内科	11	内科	2名19日
心電図検査	0	整形外科	0	外科	0
胸部X線	65	精神科	7	神経内科	0
腹部X線	22	循環器科	5	整形外科	0
尿検査	10	眼科	0	脳外科	0
服薬	58	皮膚科	0	泌尿器科	0
感染症 (インフルエンザ)	0	耳鼻科	0	精神科	0
感染症 (新型コロナウイルス)	0	外科	4	消化器科	0
排便管理	58	泌尿器科	6	呼吸器科	0
インフルエンザ予防接種	57	脳神経外科	7	循環器科	0
新型コロナウイルスワクチン	55	歯科	17	歯科	0

④ 入所者の給食に関すること

(1) 食事形態について

(令和7年3月31日現在)

主食	ごはん	やわらか	おかゆ	ゼリー おかゆ	経管栄養	総計
男	1	9	7	1	2	20
女	5	12	15	3	1	36
総計	6	21	22	4	3	56

副食	経管栄養	ミキサー食	ソフト食	きざみ食	一口常食	常食	総計
男	2	1	1	6	6	4	20
女	1	3	6	9	10	7	36
総計	3	4	7	15	16	11	56

(2) 年間行事食提供状況

行事名		献立名
4月	開苑記念日	手毬寿司、天ぷら、すまし汁 白桃羊羹、ストロベリーケーキ
7月	夕涼み会	セレクト【焼きそば、そうめん2種、冷やし中華】、盛り合わせプレート、オクラ浅漬け風、スイカ、アイス
9月	敬老会	穴子ちらし、銀たらの照り焼き、天ぷら、牛肉と里芋しぐれ煮、炊き

		合わせ、菊とほうれん草の和え物、果物(巨峰・梨・柿)、紅白そうめん汁、餡かけ茶碗蒸し、ケーキ・饅頭
11月	食事会	手毬寿司、太巻き、かぶと菊の酢の物、フルーツ盛り合わせ、ミニケーキ、ひつつみ、レアチーズムース
12月	クリスマス会	ピラフ、ビーフシチュー、ポテトサラダ、星のコロッケ、シーフードマリネ、イチゴムース、野菜スープ、クリスマスケーキ

(3) 年間栄養摂取状況

成分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	基準値
エネルギー	1527	1513	1502	1509	1507	1515	1586	1604	1589	1576	1568	1557	1546	1496
たんぱく質	52.1	52.5	51.6	52.3	51	52.6	60.4	57.3	60.1	59.5	61.2	60.2	56	42
脂質	44.4	44.1	43.6	43	42.6	42.9	46.5	46	46.3	45.9	44.2	44.2	44	41.6
カルシウム	715	727	713	717	679	730	992	952	955	976	968	977	842	522
鉄	8.8	9	9.1	9	8.8	9.1	8.1	7.7	7.3	7.9	8	7.9	8.4	5.7
レチノール活性等量	616	630	544	581	591	608	496	417	434	490	457	480	529	473
ビタミンB ₁	0.88	0.88	0.90	0.88	0.89	0.83	1.54	1.46	1.46	1.44	1.50	1.49	1.18	0.8
ビタミンB ₂	0.86	0.89	0.86	0.85	0.80	0.85	1.54	1.50	1.52	1.50	1.54	1.54	1.19	0.9
ビタミンC	78	78	79	79	77	77	69	51	69	67	61	69	71	80
塩分	7	6.9	7	7	6.9	7	7	6.6	6.3	6.1	6.7	6	6.7	7

⑤ 入所者の機能訓練に関する事

週に1～2回、4時間程度の個別機能訓練を実施し記録する事ができた。訓練内容としては起立訓練や歩行訓練が中心だが、入所者に合わせて基本動作訓練やトイレ動作などのADL動作訓練も実施した。また訓練前後の体調確認を行い、他部門との連携を図るよう努めることができた。今後も引き続き、他部門や他職種と協同し、入所者の個々の状態に合わせた機能訓練を進める。

⑥ 委員会の活動状況

(1) 入退所検討委員会

3ヶ月毎に行政・第三者委員を含めた委員会を招集し入退所者の検討を行い、必要と認められる際は随時開催している。今年度は21名(男性8・女性13)の入所と22名(男性6・女性16)の退所があった。例年に比べ長期入所申請者の減少が見られるほか、申請者のニーズも多様化しているため、個々のケースに適した検討を行う必要があった。

(2) 生産性向上委員会

第三者評価を元にした自己評価の実施ができなかった。補助金申請により全館Wi-Fi整備、介護ロボットの導入ができたが、活用する上での設置方法や操作などの取り扱い方法が全職員への周知がまだ図れていない。

(3) 褥瘡予防対策委員会

定例会だけでなく、職員間でタイムリーに褥瘡リスクの高い利用者の状態把握に努め、その都度予防的に対応することができていた。日常的に、洗浄・保湿・体位交換(除圧も含め)など対策を行うことができていた。今後も皮膚観察を続け適宜評価、処置を継続する。また職員で統一したケアが行えるよう研修も実施し、新たな褥瘡発生予防に努めたい。

(4) 排泄検討委員会

毎月の会議を行う事はできなかったが、入所者の状態変化に合わせてその都度話し合い、排泄方法、使用物品の見直しを行うことができた。動画研修を通して職員の知識と技術の習得に役立てる事ができたため、今後とも実施して快適な排泄支援を目指す。

(5) 食事サービス委員会

食事時のシーティングやポジショニングについて考える研修を行った。職員各自それぞれ着眼点に違いはあるものの、専門職としての知識が再確認できた。動画研修とは違い受動的ではなく能動的に考えることができるメリットがあったが、紙媒体だったため作成に時間がかかるデメリットがあった。気づきのトレーニングをしたことを生かし、介助時の誤嚥・窒息のリスク回避できるような実践につなげたい。また、10月より委託先の食事形態が変更になってから、汁物のとろみ加減が定まらず危険につながるため、増粘剤の量や攪拌の手技について検討した結果を職員に周知し、今後のサービス向上・改善につなげた。

(6) 行事クラブ委員会

新型コロナウイルス感染症のために家族会との行事が実施できなかったことから、楽しめる新たな行事を検討し、開催することができた。「ふれあい交流会」の代わりに施設長杯（ミニ運動会）を開催し、入所者と一緒に楽しむことができた。法人の苑夏祭りの代替えに、特別養護老人ホームりんどう苑では小規模ながら夏祭りを開催し、ヨーヨーすくいや輪投げなどの模擬店を開くなど、最後に職員で盆踊りを披露した。一人ひとりの写真を撮影する事を目標にし、特に大きい催しときは、入所者全員を撮影することができた。食堂ホールのテレビ1台を動画鑑賞ができるに整備し、民謡等がいつでも楽しめるように努めた。感染症を予防しながら更により良い行事を開催できるよう努めていく。

(7) 口腔内のたん吸引等安全委員会

安全委員会を定期的に（隔月、不測の事態が生じた場合は随時）に開催した。事故及びヒヤリハット案件が1件発生したが、即日、安全委員会にて協議し再発防止に努めることができた。医療的ケア業務従事認定者への研修会を開催し、介護職員が口腔内の痰吸引を安全に実施するとともに、医療的ケア技術の向上を図ることができた。今後も研修会を繰り返し実施し、介護職員の医療的ケアが安全に行われるよう努めていきたい。

2 りんどう苑短期入所事業所

令和5年度と同様に日常生活動作が自立している要介護度2の利用が最も多かった。一方で、インシュリン注射や在宅酸素をはじめとした医療ニーズの高い利用者が増えており、施設の介護、看護体制の中でどのように対応していくか、緊急時の対応手順などを事前に協議、検討する必要がある。今後も医療ニーズの高い方の利用があると予測されるため、それぞれのケースに応じた対応ができるようにアセスメントし、情報共有に努める。

令和5年度は施設内でインフルエンザ感染症と新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生し、短期入所利用者も罹患、受入を中断せざるを得ない状況だったが、今年度は利用前の検温やマスク着用等の対策を職員も含めて徹底したこともあり、クラスター等の蔓延にはならなかった。レクリエーション活動は少なく、利用者同士の交流が乏しい現状であることから、今後は積極的に支援する必要がある。また、機能訓練等のニーズにも応えることができるように、しっかりと個別計画していきたい。

① 利用状況に関すること

(1) 要介護度別短期入所利用状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
要介護度1	29	44	29	25	23	19	12	4	18	14	0	4	221	300
要介護度2	88	82	68	72	63	69	77	84	100	121	128	152	1104	1199
要介護度3	18	27	54	69	112	98	68	68	63	80	65	41	763	408
要介護度4	34	43	47	39	39	46	46	35	30	30	16	23	428	681
要介護度5	0	4	0	6	0	0	20	33	22	0	0	0	85	36
合計	169	200	198	211	237	232	223	224	233	245	209	220	2601	2624

(2) 要介護度別介護予防短期入所利用状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	8	13	5
要支援2	5	0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	15	4
合計	5	0	5	0	5	0	0	0	0	0	5	8	28	9

(3) 八幡平市配食サービス受託事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
利用者数	25	26	24	37	35	38	39	31	23	14	24	26	342	315

3 りんどう苑デイサービスセンター

7月より指定通所介護から指定地域密着型通所介護に移行となり、利用定員が30名から18名となった。定員減から複数回利用希望を反映できない時期もあったが、施設入所や短期入所、入院等があり徐々に複数回利用希望にも対応できるようになった。利用人数は減少しているため、今後も介護予防の視点を含めた早めのサービス利用を地域に浸透させることで新規利用につなげたい。要支援者の利用が減少しており、要因の一つとして要支援者が要介護者になったことが挙げられる。今後も介助・介護が必要な人が増えると予想されるため、サービスの質の向上が求められると考える。新型コロナウイルス感染症が数件見られたが蔓延までには至らなかった。引き続き感染対策を継続し、サービスが中断ならないように取り組みたい。

① 利用状況に関すること

(1) 利用登録状況 (令和7年3月31日現在)

区分	男性	女性	合計
舘市・兄川	1	4	5
石名坂・瀬の沢	0	10	10
新興通・苗代沢	1	9	10
田山・杉沢	3	10	13
栗木田・長者前	0	1	1
新町	1	0	1
合計	6	34	40

(2) 世帯状況 (令和7年3月31日現在)

区分	男性	女性	合計
一人暮らし	0	10	10
夫婦暮らし	3	2	5
家族と同居	3	22	25
合計	6	34	40

(3) 要介護度別通所介護利用状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
要介護度1	102	106	96	109	181	93	98	98	76	75	80	83	1197	1464
要介護度2	129	116	105	145	130	146	145	120	145	133	134	137	1585	1368
要介護度3	26	26	32	32	52	47	57	51	35	44	41	55	498	647
要介護度4	9	7	5	10	6	7	8	4	0	0	0	0	56	72
要介護度5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
実施日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256	254
合計	266	255	238	296	369	293	308	273	256	252	255	275	3336	3562

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス利用状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
要支援1	37	30	20	14	12	2	4	8	7	8	7	8	157	393
要支援2	12	12	4	4	10	10	9	7	11	8	10	4	101	108
実施日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256	255
合計	49	42	24	18	22	12	13	15	18	16	17	12	258	501

(5) 活動状況

	内容		内容
4月	スカットボール ピンポンでポン 輪投げゲーム ペットボトルボー リング	10月	茶話会・間違い探し テーブルカ ーリング ペットボトルボーリン グ 玉入れゲーム 長さ比べ
5月	どっぴき 長さ比べ 競馬ゲーム ボール送り 倒せモンスターボッ クス	11月	スカットボール パック詰め競争 輪投げゲーム 手工芸
6月	的当てゲーム ペットボトル倒し 誕生会 (4.5.6月) 七夕装飾	12月	手工芸 クリスマス装飾 誕生会 (10.11.12月) 的当てゲーム
7月	輪っか集め スカットボール ゴ ルフで打ち上げ花火 長さ比べ 魚釣りゲーム	1月	かるた大会 どっぴき 倒せモン スターボックス 輪っか集め
8月	ならべてポン 上映会・ビデオ鑑賞 どっぴき 猿上りゲーム	2月	ならべてポン スカットボール 輪投げゲーム 春の装飾
9月	スカットボール 輪投げゲーム 共同作品作り 誕生会 (7.8.9月)	3月	春の装飾 ピンポンでポン 誕生 会 (1.2.3月) 茶話会・間違い探 し スカットボール

(6) 八幡平市日中一時支援事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
利用者数	5	6	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	16	42

(7) 運営推進会議開催状況

開催年月日	内 容	参加者
令和6年11月26日	1) 事業運営の基本方針 2) 日常サービスの提供内容や定例行事の実施報告 3) 利用者の構成（年齢、要介護度、利用年数等） 4) 事故・ヒヤリハット報告（事故7件 ヒヤリ0件） 5) その他	7名

4 安代会居宅介護支援事業所

近年、ケアラー(ヤングケアラー、ダブル・トリプルケアラー、老々介護、老障介護)、難病、障がい、生活困窮といった課題が山積しているケースが多い。重層的な支援を必要とするケースに対し、事業所として、また介護支援専門員として高次のケアマネジメントが求められると感じる場面が多々あった。また、利用者及び家族の価値観も多様で、援助方法や面談技法の向上が必要だと感じた。そのため外部研修への積極的な参加は勿論のこと、内部研修の回数や内容の充実を図った。結果、ケアマネジメント力や多様な価値観への対応力は向上した。しかし、技術知識向上と反して利用者数は減少した。高齢者人口の減少、家族介護力の脆弱化(家族が遠方に住んでいる)などが背景にあると思われる。今後も利用者の増加は難しいかもしれないが、サービス事業者や包括支援センター、医療機関と連携を図り、兼ねて事業所、介護支援専門員の更なる技術知識向上と細やかな支援で、利用者及び家族の満足度の向上と在宅生活の維持が利用率に反映するようにしていく。

(1) ケアプラン作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
要介護度1	22	21	20	22	20	24	21	20	17	19	19	20	245	354
要介護度2	32	30	28	31	31	32	34	33	36	34	30	34	385	347
要介護度3	8	10	15	18	18	17	13	13	10	12	14	15	163	123
要介護度4	3	3	2	1	1	1	2	2	2	2	2	1	22	50
要介護度5	2	2	3	3	2	2	3	2	3	1	1	2	26	13
合計	67	66	68	75	72	76	73	70	68	68	66	72	841	887

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス利用状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	11	9	9	8	10	9	9	10	14	14	14	14	131	155
要支援2	19	19	23	17	18	16	16	16	17	16	16	14	207	232
合計	30	28	32	25	28	25	25	26	31	30	30	28	338	387

5 りんどう苑在宅介護支援センター

月に1度、地域巡回をし、相談窓口の広報を行った。広報紙(チラシ)を刷新してから、年々チラシを見た方からの電話相談が多くなっている。窓口としての機能を適切に果たし、地域包括支援センターに早期に紹介することができている。依然、要介護認定に係る申請支援の相談が多い。また、訪問介護をはじめとする訪問系サービス、通所介護をはじめとする通所系サービスの相談は減少傾向にあり、環境や住まいに関する相談(施設入所、福祉用具、住宅改修)が増加している。

(1) 相談業務状況

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護に関する相談													
介護方法等	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	4
認知症・精神	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
医療に関する相談	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	5	9
介護保険に関する相談													
介護保険制度全般	1	1	0	2	0	0	3	3	2	0	5	1	18
要介護認定	2	7	4	0	2	5	6	4	3	4	3	6	46
ケアプラン作成	1	0	0	1	2	0	0	3	1	4	0	0	12
介護サービス（在宅）													
訪問サービス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
通所サービス	4	1	1	1	1	2	1	3	0	0	0	0	14
短期入所サービス	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3
地域密着型サービス	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
特定施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用料及び保険料関係	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
高齢者福祉サービスに関する相談													
生活支援	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	6
介護予防・生きがい活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族の介護支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
健康づくりと保健事業に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設入所に関する相談	1	1	1	0	0	1	1	2	1	1	0	2	11
福祉用具に関する相談	2	1	0	2	3	1	1	6	1	0	1	3	21
住宅改修に関する相談	1	0	0	1	0	1	0	5	0	0	1	1	10
諸制度に関する相談													
諸手帳	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
諸手当	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
実態把握	2	1	2	0	0	0	1	1	1	0	2	1	11
苦情に関する事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年金・保険・財産に関する事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護に関する事													
虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
老人福祉施設等への措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
困難事例に関するもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者被害に関するもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	8
合計	17	13	8	8	10	11	18	37	9	11	16	25	183

6 ふれあいセンター安代デイサービスセンター

1日あたりの平均利用者数は14.9名で、前年度より2.8名の減少となった。減少の主な要因は、短期入所サービスの利用増加や入院・施設入所に伴う通所介護サービスの中断や中止などが挙げられる。これは、介護度の進行や家族の介護負担軽減に向けた支援の一環として、必要なサービスへの移行が行われたものと推察する。引き続き、地域包括やケアマネジャーと連携し、切れ目のない支援を継続していく。今年度は疥癬への罹患が続き、長期の自宅療養を余儀なくされる利用者も一部に見られた。今後、感染症対策の一層の強化が求められる。利用者数の減少に伴い、事業運営の安定性に課題が見られた。令和7年度からは指定地域密着型通所介護事業へ移行するため、事業運営の改善を進めていく。

① 利用状況に関すること

(1) 利用登録状況

(令和7年3月31日現在)

区分	男性	女性	合計
新町地区	6	11	17
細野・畑地区	3	8	11
赤坂田地区	0	2	2
曲田地区	0	0	0
浅沢・五日市地区	4	15	19
田山・杉沢地区	0	0	0
舘市・兄川地区	0	0	0
新興通り・苗代沢	0	0	0
合計	13	36	49

(2) 世帯状況

(令和7年3月31日現在)

区分	男性	女性	合計
一人暮らし	3	10	13
夫婦暮らし	2	3	5
家族と同居	8	23	31
合計	13	36	49

(3) 要介護度別通所介護利用状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
要介護度1	95	96	87	101	75	74	67	62	59	60	59	61	896	1539
要介護度2	125	124	97	123	102	101	117	91	93	78	53	63	1167	1368
要介護度3	27	55	52	71	75	59	58	51	45	43	59	61	656	400
要介護度4	15	12	1	0	0	0	0	0	4	4	4	4	44	276
要介護度5	9	10	8	10	9	9	3	1	0	0	0	0	59	18
実施日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256	257
合計	271	297	245	305	261	243	245	205	201	185	175	189	2822	3601

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス利用状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
要支援1	17	19	15	15	15	17	21	21	30	32	30	33	265	250
要支援2	66	74	62	68	61	52	60	50	58	55	60	58	724	699
実施日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256	257
合計	83	93	77	83	76	69	81	71	88	87	90	91	989	949

(5) 活動状況

	内容		内容
4月	輪投げ 長さ比べ スカットボール ビンゴゲーム ビデオ鑑賞	10月	ボウリングゲーム 長さ比べ ペットお金倒し ペタボード ビデオ鑑賞
5月	ビデオ鑑賞 タオルかけ サイコロ転がし ペットボトルバレー大会 リング&コーン	11月	コーンボール 茶話会 スカットボール すき焼きゲーム
6月	ソフトダーツ すき焼きゲーム 誕生会 点鳥ルーレット	12月	マジックナイン 魚釣りゲーム クリスマス会・誕生会 ビデオ鑑賞
7月	ボウリングゲーム ビンゴゲームターゲットプレイゲーム 魚釣りゲーム サッカーストラック的当て	1月	双六ゲーム 運試しタオルかけ 輪投げ 節分鬼退治
8月	サッカーストラック的当て 双六ゲーム マジックナイン 玉入れ ローラー大作戦	2月	ローラー大作戦 大金持ちゲーム リング&コーン ビンゴゲーム
9月	大金持ちゲーム ビンゴゲーム 誕生会 カメムシ退治 ボウリングゲーム	3月	長さ比べ ターゲットプレイゲーム 誕生会 マジックナイン ビデオ鑑賞

(6) 八幡平市日中一時支援事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
利用者数	8	9	7	9	9	7	9	8	8	8	8	8	98	95

7 ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハウス

入居者数は、冬期間も満床とならなかったため、200人弱の減少となった。冬期間には入居者間の軽微なトラブルがあり、個別対応と関係調整を行った。また、緊急入居の受け入れもあり、関係機関と連携の上適切に対応した。さらに、職員1名が不慮の事故により休務となったため、業務体制を維持する目的で3月に新たな職員を2名配置した。現在は引継ぎを進め、通常業務ができている。

(1) 入居者利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
実人数	9	3	3	3	3	3	3	8	9	8	8	9	69	77
利用者数	244	93	90	93	93	90	58	127	263	212	205	276	1844	2030

8 グループホームやがみ

入居者アンケートや日々の新聞読み聞かせを利用し、「その人らしさ」や「それぞれの思い出」に寄り添い、思いや意向、希望など入居者目線で支援することができた。様々な感染症の予防に努めたことで一時面会を禁止、窓を越した面会等の措置を実施し、入居者に大きな負担をかけた。地域との交流を進めることから、行事や屋外への活動を企画し、楽しんでいただけた。併設の地域交流スペースにおいては、認知症カフェや小学校交流の場になるなど地域交流に寄与した。

(1) 保険者地域別利用状況 (令和7年3月31日現在)

保 険 者 名	男	女	計
盛岡北部行政事務組合	2	5	7
合 計	2	5	7

(2) 入居者在籍状況

入所状況	男性	女性	合計
要介護度1	0	0	0
要介護度2	1	1	2
要介護度3	1	4	5
要介護度4	0	0	0
要介護度5	0	0	0
合計	2	5	7

(3) 月別入居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
月初人員	8	8	9	9	8	9	8	9	8	8	9	9	102	108
利用者数	251	248	270	270	254	259	273	270	248	275	252	235	3105	3140

(4) 通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	5	3	4	6	9	8	5	5	1	6	4	4	60
精 神 科	2	1	2	1	1	0	2	2	1	2	0	1	15
脳神経外科	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	7
消化器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器科	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	4
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	5	4	2	2	1	14
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肛門科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
眼 科	1	1	0	1	2	1	2	0	2	1	0	4	15
歯 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

延べ人数	9	5	7	7	14	9	11	9	8	13	7	12	101
延べ日数	9	5	7	7	14	9	11	9	8	13	7	12	101
家族付添	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	5
歯科検診	5	4	5	4	5	0	5	4	3	4	4	5	48

(5) レクリエーション活動実施状況及び関連事業・行事

区 分	活 動 内 容	誕生会	会 議 等	その他の事業
4 月	りんどう苑開所記念昼食会 おやつ作り 誕生会 お花見	1 人	職員会議	理髪訪問サービス
5 月	母の日(お楽しみ会) おやつ作り 田山小運動会見学	1 人	運営推進会議 入所検討会議 職員会議	
6 月	田山小学校畑作り訪問 軽トラ市 参加 男の日(お楽しみ会) おやつ作り 浄法寺小学校相撲大会見学	0 人	職員会議	沢目むつみ会 理髪訪問サービス
7 月	先 祓 い 見 学 (折 壁 ・ 兄 川) 七夕会	0 人	運営推進会議 職員会議	沢目むつみ会 7/26 介護保険施設運営 指導
8 月	納涼祭 (スタミナ会) 花火見学 お盆面会 (ガラス越し) 誕生会 前期総合避難訓練	1 人	入所検討会議 職員会議	沢目むつみ会 理髪訪問 サービス
9 月	敬老会 (米寿 2 名) 誕生会 (8 月末～9 月末面会禁止)	1 人	運営推進会議 入所検討会議 職員会議	沢目むつみ会
10 月	田山小訪問 軽トラ市参加 誕生会 畑芋収穫 (田山小学校) 田山振興協議会チャレンジデー	0 人	職員会議	沢目むつみ会 理髪訪問 サービス 10/23 地域 密着型サービス外部評価 受審
11 月	安代地区コミュニティセンター 文化祭見学 郷土芸能まつり	1 人	運営推進会議 職員会議	インフルエンザ予防接種 新型コロナワクチン予防接種
12 月	手打ちそば実演見学 誕生会 クリスマス会	1 人	職員会議 入所検討会議	理髪訪問サービス
1 月	新年会 お正月ゲーム 鏡割り・ みずき団子作り	0 人	運営推進会議 職員会議	
2 月	節分豆まき バレンタインお楽し み会	1 人	職員会議	理髪訪問サービス
3 月	雛祭り行事 誕生会 ホワイトデ イお楽しみ会 後期総合避難訓練	0 人	運営推進会議 職員会議	

(6) 運営推進会議開催状況

開催年月日	内 容	参加者
5 月	1) 令和6年度事業計画・年間行事予定 2) 活動報告・次月予定 3) 事故・ヒヤリハット報告（事故2件 ヒヤリ5件） 4) 令和6年度第1回やがみ入居者アンケート結果 5) その他 運営推進介護構成員名簿・任期期間・情報提供	9名
7 月	1) 令和6年度第2回やがみ入居者アンケート結果 2) 事故・ヒヤリハット報告（事故1件 ヒヤリ3件） 3) 活動報告・次月予定 4) その他	9名
9 月	1) 介護保険施設運営指導実施・経過報告 2) 活動報告・次月予定 3) 令和6年度第3回やがみ入居者アンケート結果 4) 事故・ヒヤリハット報告（事故0件 ヒヤリ10件） 5) その他・外部評価に向けて	9名
11 月	1) 地域密着型外部評価実施・結果報告 2) 令和6年度第4回やがみ入居者アンケート結果 3) 活動報告・次月予定 4) 事故・ヒヤリハット報告（事故4件 ヒヤリ1件） 5) その他・予防接種状況について	8名
1 月	1) 令和6年度第5回やがみ入居者アンケート結果 2) 活動報告・次月予定 3) 事故・ヒヤリハット報告（事故1件 ヒヤリ4件） 4) その他	7名
3 月	1) 令和6年度第6回やがみ入居者アンケート結果 2) 活動報告・次月予定 3) 事故・ヒヤリハット報告（事故2件 ヒヤリ3件） 4) その他	8名

(7) 月別面会状況

利用状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
家族数	6	10	12	12	11	8	17	13	8	5	6	9	117	86
面会数	10	23	20	14	26	9	30	23	14	9	8	12	198	112

※感染対策のため面会規制中

(8) 地域交流スペース利用状況

利用状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
利用者数	15	5	15	0	15	0	15	15	15	0	15	0	110	85
利用団体数	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	8	6